

2021年度（第11事業年度）

事業報告及び附属明細書

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月31日

公益財団法人 日本女性学習財団

I. 公益目的事業

生涯学習の振興及び活性化支援事業

2021年度は、本財団の目的である「男女共同参画社会の形成に資する生涯学習及び次世代育成の振興に寄与する」事業の円滑なる進展を図るため、国内外の動向を踏まえた最新の情報提供に努めるとともに、事業領域・内容の工夫、広報活動の強化、関係機関・団体との協力連携を通し、当面する諸課題について各学習事業、管理運営、その他の事務を遂行した。

昨年度に引き続き、コロナ禍ではあったがオンライン等を活用した事業を行い、財団ネットワークの基盤を強化した。

1. 研究調査

(1) 防災・減災に関する研究調査

趣旨：東日本大震災から10年経過したことを踏まえ、男女共同参画と災害・復興ネットワーク（代表：堂本暁子）と協働で事業を行うと共に、ホームページ上で防災・減災とジェンダーに関する情報を発信する。

内容：① 財団HPの「防災・減災とジェンダー」を更新した。

② 月刊『We learn』2022年1月号で、「災害格差をなくす」を特集テーマとして発信した。

③ JAWW 勉強会「気候変動とジェンダー入門」を共催（9月13日：オンライン開催）

④ (独) 国立女性教育会館主催 2021年度「男女共同参画推進フォーラム」にて実施のJWNDRR 主催ワークショップ「災害にレジリエントな社会をめざして：男女共同参画と災害・復興ネットワークの10年」を共催（12月11日：オンライン開催）

(2) 女性の教育・学習活動史研究

趣旨：「出発・再出発」をテーマに、男女共同参画社会、多様な人々が生きやすい社会の実現に向けて、次への一步を踏みだしたい／踏みだした人（踏みだす人を支援する人・グループも可）の思いや過程などをまとめたレポートを募集し、「日本女性学習財団 未来大賞」として優秀作品を表彰する。

選考委員：村松泰子（委員長）、犬塚協太、中村香、藤井俊一

内容：① 第5回未来大賞応募レポート数 33篇（8月31日締め切り）

② 選考委員会

日時：11月26日 応募33篇の中から大賞1篇を選考

「第5回 日本女性学習財団 未来大賞」受賞レポート

「誰もが『言葉』を持てる社会へーライフストーリーを紐解くー」

佐々木友喜さん（青森県）

③ 贈呈式

日時：2022年3月5日

実施方法：オンライン

*月刊『We learn』2022年3月号に大賞レポートを全文掲載した。

2. 人財育成事業

(1) キャリア人財プラットフォーム事業

趣旨：女性のエンパワーメントをめざし、生涯にわたるキャリアデザインを男女共同参画の視点で支援する方を「キャリア支援デザイナー」として登録するための養成講座を開催する。また、女性の生涯にわたるキャリア形成のための人と社会をつなぐ場である「キャリア人財プラットフォーム」を核としたネットワークを強化していく。

内容：① (公財)日本女性学習財団キャリア支援デザイナー 第9期養成講座

日時：7月10日

講師：亀田温子、村松泰子

実施方法：オンライン

登録者：12人

*登録証授与式は9月25日にオンラインで開催した。

② (公財)日本女性学習財団キャリア支援デザイナー 第7期更新講座

日時：8月22日

講師：小川真理子、村松泰子

実施方法：オンライン

登録更新人数：16人

(1~9期登録デザイナー102人：2022年3月31日現在)

③ブラッシュアップ講座

日時：7月18日

テーマ：「オンライン・カフェ開店！『ヘルシーカフェのら』店主に聞く、
地域で学びあい、育ちあう場のつくり方」

講師：新井純子（第4回日本女性学習財団未来大賞受賞者）、瀬山紀子

実施方法：オンライン

参加者：30人

④ デザイナー企画協働事業

第1回応募企画1件、採用企画1件

第2回応募企画5件、採用企画3件（うち1件は2022年度実施予定）

< 1 >

日時：5月26日（前年度採択分）

テーマ：「40代・50代の女性が今から考えるお金とキャリア
ー自分スタートのお金とキャリアー」

企画：尾澤まりこ（第7期）

講師：尾澤まりこ

協働先：合同会社ミライの芽

実施方法：オンライン

参加者：20人

< 2 >

日時：9月11日

テーマ：「ママだからこそ考えたい

これからのライフ&キャリアプラン入門」

企画：田頭あやこ（第8期）、増田綾子（第8期）

講師：増田綾子

コーディネーター：田頭あやこ

協働先：キャリアデザインオフィスあかつき、両立キャリアスクール

協力：君野和美（第8期）、古田理香子（第7期）、皆川紘子（第8期）

実施方法：オンライン

参加者：13人

< 3 >

日時：2022年1月22日

テーマ：「ミドルだと思っていたら、気づけばシニアまっしぐら

～豊かに自分らしく生きるための対談&ワークショップ～」

企画：岩井真理・垣内啓江（第2期）

講師：同上

協働先：同上

実施方法：オンライン

参加者：11人

< 4 >

日時：2022年3月5日

テーマ：「国家資格キャリアコンサルタントの活かし方

～最近の大学生事情と支援に必要なこと～」

企画：君野和美（第8期）

講師：同上

協働先：Position Design

実施方法：オンライン

参加者：26人

⑤ デザイナー企画講師派遣事業

応募1件、採用企画 1件

< 1 >

日時：2月27日

テーマ：長岡市男女平等推進センターウィルながおか 20周年記念講演会

「男性にとっての男女共同参画

～脱・昭和型『男らしく』から令和型『自分らしく』へ～」

企画：白井一美（第7期）

講師：犬塚協太（財団理事）

主催：長岡市男女平等推進センター ウィルながおか

実施方法：ハイブリッド（会場&オンライン）

参加者：53人

⑥ デザイナー交流会

デザイナー有志による自主交流会を毎月1回開催（オンラインにて）

⑦2021年度キャリア支援デザイナーフォーラム

日時：2月19日

内容：午前 第19回ぶっく・トーク『コミュニティ・オーガナイズン
ほしい未来をみんなで創る5つのステップ』
（下記、(3)資料の整備・情報公開②参照）

午後 ①グループセッション1

「コロナ禍、アフターコロナにおける女性への支援」

②グループセッション2

「ミドル期・シニア期女性へのキャリア支援」

③全体会

*午前は一般公開、午後は財団関係者限定で実施

実施方法：オンライン

参加者：61人

(2) 子育て支援者育成・次世代育成講座

趣旨：子育て支援、次世代育成に携わる人を対象に、ジェンダー視点をもった支援を軸とした支援者育成講座を開催する。

日時：11月12日

テーマ：「脱120位！ジェンダー平等社会にむけて私たちができること
～学校・教育から考えるジェンダー・バイアス～」

講師：木村育恵

パネリスト：伊藤梨里、木村侑加

実施方法：オンライン

参加者：85人

3. 情報提供

(1) 月刊『We learn』発行

趣旨：男女共同参画の普及啓発のための専門誌として女性の教育・学習の課題及び次世代育成の全国的・国際的な課題並びに、研究及び実践活動に関する情報を収集・提供している情報誌である。今年度は、第五次男女共同参画基本計画策定を踏まえ、実効性のあるものにしていくための情報提供を行う他、キャリア支援デザイナーをはじめ、他事業やWEBと連携した情報発信を進める。

① 総発行部数 11,000部 (1,000部/月、年11回発行)

② 販売部数 4,662部、贈呈・交換部数 3,080部

③ 特集テーマ

4月号「女性活躍推進法から5年—光と影」

5月号「子どもを支えるおとな・社会のまなざし」

6月号「未来を拓く政治とは」

7月号「持続可能な社会への道すじ」

8月号「社会運動とメディア」
 9月号「ジェンダー・センシティブな教育」
 10月号「国際ガールズデー—モヤモヤを声に・力に」
 11・12月号「性暴力と闘う一法・社会のこれから」
 1月号「災害格差をなくす」
 2月号「女性とリーダーシップ」
 3月号「踏み出す・変える—学びとともに」

(2) パネル等普及啓発資料の作成・普及

趣旨：イラストを通して男女共同参画にまつわるさまざまな問題を提示する「なるほどジェンダー」パネル、「発見！ジェンダー」パネルを貸出・販売する。また、パネル貸出増のための普及活動に取り組み財団の認知度向上を図る。

① パネルの貸出・販売

貸出件数：10件

「発見！ジェンダー」 貸出先	埼玉県飯能市、神奈川県相模原市立男女共同参画推進センターソレイユさがみ、沖縄県中頭郡嘉手納町町役場、佐賀県多久市、福井県鯖江市
「なるほどジェンダー」 貸出先	大分県大分市、岐阜県岐阜市、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所、福井県鯖江市、茨城県

販売件数：1件（2セット）

「発見！ジェンダー」 販売先	しまね女性センター
-------------------	-----------

② パネルの普及活動

趣旨：イラストを通して男女共同参画にまつわるさまざまな問題を提示する「発見！ジェンダー」パネルについて、国立女性教育会館主催のフォーラムにてWEB パネル展示に出展することにより、パネルの認知度をあげるとともに、見た方にとっては、ジェンダーについて気づきを得られる機会とする。

主催：(独) 国立女性教育会館主催 2021年度「男女共同参画推進フォーラム」
 ワークショップ (WEB パネル展示)

日時：12月1日～21日

テーマ：WEB パネル展「あるある！私の発見ジェンダー」

参加者（延べ閲覧者）：443人

(3) 資料の整備・情報公開

① ホームページの充実

当財団の事業については、適宜事業案内・報告を財団ホームページに掲載し、その内容を公開する。また、メール、Facebook、Instagram、Twitter等を用いて、タイムリーな情報提供、広報活動の強化に努めた。

ホームページアクセス数：2021年度 158,584件（前年度 69,865件）

② ぶっく・とーくの開催

趣旨：2021年度キャリア支援デザイナーフォーラム内で実施した。

日時：2月19日

テーマ：第19回ぶっく・とーく『コミュニティ・オーガナイズング
ほしい未来をみんなで創る5つのステップ』

講師：鎌田華乃子

聞き手：服部篤子

実施方法：オンライン

参加者：61人

*内容を月刊『We learn』2022年7月号に掲載予定

4. 関係諸団体との連携支援

女子会館内団体との情報交換を行った他、国際婦人年連絡会・全国女性会館協議会・社会教育団体振興協議会、男女共同参画と災害・復興ネットワーク等に加え・連携して、全国的・国際的な活動に参画・参加するとともに、全国各地からの要望に応じて連携・支援を行った。

(1) 他団体との連携・支援事業

① 講座等の開催

- a. 聖心女子大学グローバル共生研究所展示ワークショップ企画・実施(5月～7月、オンライン開催、学習事業課係員、係長)
- b. 5月20日流山市「わたしへのごほうび講座2021」(学習事業課長、係長)
- c. 8月25日、9月2日 聖心女子大学グローバル共生研究所 夏休み「キャリア」をジェンダーの視点から考えるオンラインワークショップ(学習事業課係員)
- d. 11月5日立教大学生涯学習支援論2講師(学習事業課係員)
- e. 11月18日江東区「第29期パルカレッジ 第2回補講「身近にあるジェンダー・バイアス」(学習事業課課長)
- f. 聖心女子大学グローバル共生研究所展示ワークショップ企画・実施(1月26日山脇学園中学校・高等学校、オンライン開催、学習事業課係員、係長)

② 関連団体の会議への参加

- a. NPO法人 全国女性会館協議会：総会・出席(学習事業課長)
- b. NPO法人 全国女性会館協議会 全国大会出席(オンライン開催：学習事業課全員)
- c. 国際婦人年連絡会：総会、全体会出席(学習事業課長)
- d. 東京ウィメンズプラザ：センター館長等会議(書面会議：課長)
- e. 男女共同参画と災害・復興ネットワーク：ワーキンググループ(理事長)
- f. 社会教育団体振興協議会：総会、幹事会 他(常務理事)

③ 共催

社会教育協会主催「未来へのバトンサミット2021」(11月3日～21日) 広報協賛

④ 後援

映画『われ弱ければ 矢嶋楯子伝』を後援

(2) 生涯学習等公益事業を行う非営利団体に活動拠点を提供し支援する事業

生涯学習や男女共同参画社会の発展のため活動している団体支援事業として日本女子会館の施設(事務室・会議室)を低料金で賃貸している。日本女子会館の公益目的賃貸面積は169.47坪、公益目的に使用している床面積の割合は34.58%。

対象団体と面積は下表のとおりである。(2022年4月1日現在)

	テナント名	階	坪
1	公益社団法人 長寿社会文化協会	1階	43.29
2	特定非営利活動法人 全国女性会館協議会	1階	5.73
3	公益財団法人 さわやか福祉財団	7階	118.45
		合計	168.47

(3) シェアオフィス・バーチャルオフィス運営「オフィス We learn」

趣旨：女性が起業するにあたって、活動拠点となるオフィスの確保が障壁の一つとなっており、女性専用シェアオフィス・バーチャルオフィスを設置することで女性の自立を支援する。

対象：起業を目指す女性、都心に事務所を必要としている女性起業家等、働く女性及び女性が代表を務める法人

会員種別：正会員、法人会員、デイリー会員、イブニング会員、バーチャル会員

定員：30人

現在会員数：法人会員；3団体、デイリー会員；11名、イブニング会員；2名
バーチャル会員；2名

(デイリー会員11名のうち3名はキャリア支援デザイナー)

*法人会員のうち2団体に対する個室使用許諾の契約は継続中。

II. 収益事業

2021年度の収益事業会計の経常収益は116,538,692円、経常費用は48,768,411円で、経常増減額(税引前)は67,770,281円となる。

全会計の経常収益は148,904,465円、経常費用は144,955,782円で、経常増減額(税引前)は3,948,683円となり、前年度の比では6,495,902円の減少となる。この他に特定資産評価益として国債の売却益が2,861,839円あり、これを加味した正味財産増減額は6,810,522円となる。当期の法人税は2,669,400円で、一般正味財産増減額は4,141,122円となる。

なお、経常費用総額のうち公益目的事業会計の占める割合は60.96%で、50%を超えているため公益財団法人としての基準を満たしている。

1. 日本女子会館建物の賃貸事業

(1) 入退居テナント状況

2021年度は8階(9.8坪)、6階(44.4坪)、4階(10.9坪)、1階(4.7坪)のテナント退去があった。8階及び1階の空室は、財団が倉庫として使用するため新規募集は行わない。6階(44.4坪)については、5階フロア全面改修工事中の財団事務所として使用し、6月以降新規テナント獲得に向けて募集を行っている。

また、今回の大規模改修工事により、これまでオフィス We learn として使用していた区画(39.5坪)がテナント募集対象床となるため、新規テナント募集を行っている。

(2) 契約更新・再契約状況

既存テナントの契約更新は、4階(18.8坪)が8月末日付で契約期間満了につき終了することが決定したが、隣接するテナントが増床契約をすることが決まっており9月1日より契約開始となる見込みである。

2. 日本女子会館の維持経営

(1) 日本女子会館建物の維持管理

2021年度は前年度の第1期大規模改修工事に続き、第2期工事としてトイレ、給湯室の全面改装を実施し、第3期工事として5階フロアの全面改装に着手している。

2021年度も老朽化に起因する不具合に適宜修繕を行った。日常点検を怠ることなく、人的に被害をもたらす恐れのあるものについては可及的速やかに修理、更新を行っている。

2021年度の主な修繕工事は、個別の修繕工事は、1階貸室の空調機分解清掃(6月)、地階厨房のガス漏れ警報器更新(6月)、地階受水槽の電極棒更新(7月)、7階貸室の照明安定器更新(7月)、6階廊下の避難誘導灯更新(8月)、2階女子トイレ入り口間の接照明器具更新(8月)、地階分電盤照明回路の絶縁不良調査・改修(9月)、各所非常灯更新(12月)、3階バルコニー水道管ラッキング工事(12月)、各所火報感知器更新(2月)、地階トイレ洗面台配水管トラップ更新(2月)、6階積算電力量計更新(3月)を行い822,851円支出している。

(2) (新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループ

9月29日に第21回委員会を開催した。日本女子会館大規模改修第3期工事について検討し、当該5階全面改修工事を以て「(新)日本女子会館ビル調査検討のためのワーキンググループ」の検討事項はすべて終了することを確認した。

Ⅲ. 管理部門

1. 賛助会員

2021年度末における会員状況は、以下のとおり。

個人会員数：38名（45口） 法人会員数：1件（1口）

2022年度についても順調に更新、入会の申込を受け付けている。

2. 理事会

開催日/場所	議題・報告事項	審議結果
2021年5月25日 リモート開催	<p>議題</p> <p>(1) 2020年度 事業報告書(案)について</p> <p>(2) 2020年度 決算書(案)について</p> <p>(3) 2021年度 定時評議員会の日程及び議案について</p> <p>(4) 任期満了につき理事改選に伴い候補者名簿を評議員会に提案することについて</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 日本女子会館大規模改修工事について</p>	承認 承認 承認 承認 了承
開催日/場所	議題・報告事項	審議結果
2021年6月16日 決議の省略	<p>理事長より提案</p> <p>(1) 業務執行理事を藤井俊一とする</p>	全員同意
開催日/場所	議題・報告事項	審議結果
2021年11月17日 リモート開催	<p>議題</p> <p>(1) 2021年度 上半期事業計画の進捗状況について</p> <p>(2) 日本女子会館5階改修工事について</p> <p>(3) 和宮像について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 理事長、常務理事の職務の執行の状況について</p>	承認 承認 承認 了承
開催日/場所	議題・報告事項	審議結果
2022年3月22日 リモート開催	<p>議題</p> <p>(1) 2022年度 事業計画(案)について</p> <p>(2) 2022年度 収支予算(案)について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 2021年度 下半期事業計画の進捗状況について</p> <p>(2) 理事長、常務理事の職務の執行の状況について</p>	承認 承認 了承

3. 評議員会

開催日/場所	議 題	審議結果
2021年6月16日 リモート開催	議題 (1) 2020年度 事業報告書の承認について (2) 2020年度 収支決算書の承認について (3) 任期満了につき理事の改選について 報告事項 (1) 2021年度事業計画について (2) 2021年度収支予算書について (3) 日本女子会館大規模改修工事について	承認 承認 承認 了承 了承 了承

事業報告の附属明細書

2021年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第11条(2)に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。